

バイオ燃料電池

長期間にわたり発電可能なバイオ燃料電池

概要

水素などを燃料源として発電する燃料電池は現在自動車、携帯機器などへの応用が期待されている。これに対し、酵素や微生物などの生体触媒を用い糖分などを燃料として電気エネルギーを取り出す「バイオ燃料電池」は、自然環境や生体内環境での利用が期待されているが、生体触媒の寿命が最大の課題となっている。本発明は、分解速度が調節可能な生分解性高分子で複数の電池を電解質溶液から隔離して連結することにより、高分子の分解による電解質溶液と電極との接液が順次発生し、その結果長時間発電が維持できるバイオ燃料電池である。

効果・応用例

- 応用例
 - ・ペースメーカー用等の体内埋込み型電源
 - ・皮膚貼り付け型電池
 - ・環境モニタリング装置用電源

特許データシート

特許番号: 特許第5279069号
発明者: 西澤松彦、都甲真

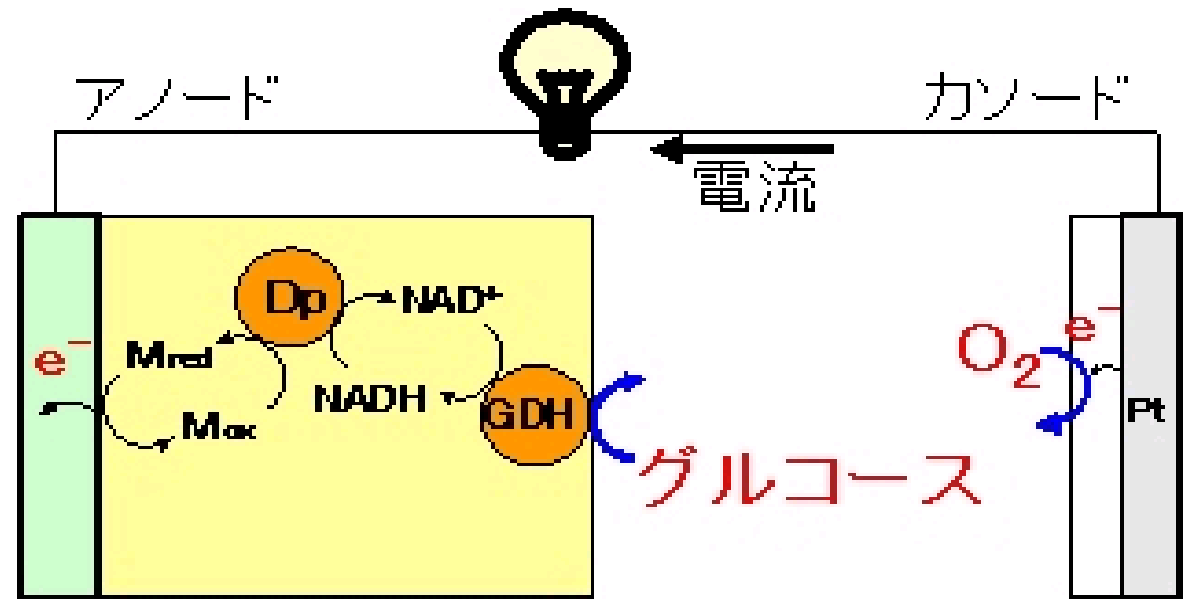


図 バイオ燃料電池の模式図

連絡先

株式会社 東北テクノアーチ

TEL 022-222-3049 FAX 022-222-3419

問い合わせは、[こちら](#)からお願いします。